

平成28年度 当初予算主な事業（食育推進計画関連事業抜粋）

平成28年度当初予算は、「地域力・市民力」、「大地・田園の力」、「日本海拠点の活力」を活かし、3つの都市像の実現に向けた取組みを進めるとともに、新潟暮らしの良さを伸ばし、内外にアピールするなど、「新潟暮らし創造運動」の展開により、21世紀にふさわしい暮らし方を新潟から構築することで、「安心政令市にいがた」の実現を目指します。

本資料は、その中から、食育推進計画に関連する主な事業を抜粋したものであり、予算額には食育推進計画に関係のない金額も含まれています。

(単位:千円)

事業名	事業概要	予算額
市民と地域が学び高め合う、安心協働都市		
ずっと安心して暮らせるまち		
災害に強いまちづくり		
田んぼダムの利活用促進	田んぼに降った雨水を一時的に貯留し、時間をかけて少しずつ流す「田んぼダム」の整備の拡大や活用への支援を行うことにより、農地の湛水被害や市街地の浸水被害の軽減を図ります。	11,155
学・社・民の融合による教育を推進するまち		
自分の力に自信をもち心豊かな子どもを育む学校教育の推進		
「新潟発 わくわく教育ファーム」の推進	子どもたちや市民に農業や食の体験を支援し、本市が誇る農業や食に対する理解を深め、ふるさとへの愛情や誇り、生きる力を培うとともに、農業を活性化します。 昨年度改訂し、内容をより充実させた農業体験学習プログラム（アグリ・スタディ・プログラム）を中心に、引き続き全小学校での農業体験学習を推進します。 また、幼稚園や保育園向けに、野菜くずと微生物を活用した「菌ちゃんリサイクル元気野菜づくり」を実施します。	36,000

事業名	事業概要	予算額
田園と都市が織りなす、環境健康都市		
地域資源を活かすまち		
食と農を通じた地域づくり		
12次産業化の推進【新規】	民間事業者による12次産業化の取組み促進を図るため、民間事業に関する実態や支援ニーズ等に関する調査を行うとともに、優良事例の表彰やセミナーの開催等を通じた12次産業化の普及・啓発を行います。	1,000
<再掲>新潟発わくわく教育ファームの推進	省略	36,000
食と花の交流推進	いくとぴあ食花各施設と連携しながら、教育ファームにも対応した団体体験プログラムの提供や季節ごとのイベントを実施し、食と花による交流を推進します。	8,316
食育の推進	にいがた流 食生活の4つの区分に適合させた「えらぶ」「つくる」「たべる」「育てる」力を養うことを目的に、食育を推進します。	13,020
花育の推進	「花と緑」を教育、地域活動に取り入れ、子どもの情報教育や世代間交流、地域づくりを推進します。	11,600
西区 食育・農業教育連携	区内の小中学校と連携して、収穫体験や食育出前講座などによる食と農に対する理解と関心を深める機会を提供し、食育を推進します。	1,600
セカンドライフ農業体験	主に退職後のシニア世代を対象に、家庭菜園等で活用できる農業体験事業を実施することにより、高齢者の生きがいづくり、仲間づくり、健康づくりを支援し、元気な高齢者の地域社会参加を促します。また、農業体験を通して消費者と生産者が交流することにより、市民の農業と地域魅力への理解を進めます。	1,487

事業名	事業概要	予算額
地域資源を活かすまち		
食と農を通じた地域づくり		
秋葉区 あきはステップファーム【新規】	障がい者福祉施設で大麦などを栽培し、収穫や加工の作業体験を行うことで、障がい者の就労支援や農業体験を活用した子育て、学生の農業に対する理解や農業分野への就労意欲の醸成を図ります。	500
南区 南区健康オオムギプロジェクト【新規】	血糖値抑制や糖尿病予防効果があるとされる「ゆきみ六条」を栽培し、地元農家や事業者、障がい者施設が連携する、生産・加工・販売のサイクルを構築し、健康づくりと障がい者の自立促進を図ります。	1,200
農産物高付加価値化の推進	農業者の所得向上や農業振興を目的に、付加価値の高い商品開発及び農作物の育種を進めるため、農産物の様々な機能性成分に着目し、科学的根拠を裏付けとした調査研究に取り組みます。	48,000
市内産の農産物を活用した減塩運動【拡充】	減塩レシピや市内産農産物を活用したレシピをもとに、農家レストランなど食品関係者と連携し、市民の健康づくりを推進していきます。	577
田園資源の活用推進【拡充】	本市の代表的な田園資源(バイオマス)である「もみ殻」について、活用方針や先行自治体との連携を踏まえた資源循環システム導入の取り組みを推進します。 ・もみ殻のビニールハウス暖房用燃料活用についてモニター調査の実施 ・情報共有等を通じた農業法人等へのもみ殻活用システムの導入促進	5,000
南区 果樹剪定枝バイオマス利用実験【新規】	果樹剪定枝の木質バイオマス資源化を推進し、収集から加工販売までの効果的なシステムを構築するとともに、病虫害の発生源となる剪定枝等を園地から排除します。	1,630
都市型グリーン・ツーリズムの推進	農村と都市の互惠関係の構築と農を契機とした交流人口の拡大のため、農村と都市が近接する本市の特性を活かした体験や交流の場を提供します。	1,800
まちの活力に活かす「水と土」		
食文化創造都市の推進	本市の魅力である食文化をさらに磨き上げ、国内外に発信し、その価値を多くの人と共有することを通じ、交流や地域活性化につなげていく活動を展開するなど、食を活かした創造的な街づくりを推進します。その活動は、産官学で組織する食文化創造都市推進会議を中心に進め、異業種連携による事業創出を支援する食文化創造都市推進プロジェクト事業などを展開します。	9,200
人と環境にやさしいにぎわうまち		
まちなかの再生・都心軸の明確化		
南区 南区ビジネスプランコンテスト【新規】	農業の6次・12次産業化を推進するため、南区産の農産物を活用したビジネスプランコンテストを開催し、新潟市及び南区での起業等を支援します。	2,500
健幸都市づくり(スマートウエルネスシティ)の推進		
健幸になれるまちづくりの推進【拡充】	健幸都市づくり(スマートウエルネスシティ)を推進するため、市民が積極的に外へ出かけ、活動量が増えるきっかけとなるよう、引き続き健幸マイレージ及び未来ポイント事業を実施し、市民の健康意識の向上を目指します。また、地域の健康課題を把握し効果的な施策の検討を行い、健康寿命延伸に向けた取り組みを進めます。	37,590
資源循環型社会への取組み・低炭素型まちづくり		
<再掲> 田園資源の活用推進【拡充】	省略	5,000
環境と人にやさしい農業の支援	環境に対する負荷を軽減させ、都市と農村が共存できる持続可能な農業を推進するため、化学合成した農薬や肥料の使用を控え、環境保全・資源循環型農業を実践する農業者を支援します。	52,600
にいがた未来ポイントの発行	環境保全、健康づくりに資する活動への参加に対し、バスICカード「りゅーと」などを活用して、新潟市共通商品券やバス乗車ポイントへ交換できるポイントを発行します。	6,920

事業名	事業概要	予算額
人と環境にやさしいにぎわうまち		
資源循環型社会への取組み・低炭素型まちづくり		
食品リサイクル地域活動の支援	家庭の生ごみなどを堆肥化し、この堆肥を使って栽培した農作物が地域内で消費される食品資源循環活動を支援します。また、段ボールコンポストの販売や講習会を開催し、普及に努めます。	8,540
市民の3R意識啓発の強化	市民に対するごみ分別情報の周知と利便性の向上を図るため、情報紙「サイチョプレス」の発行やごみ分別アプリの普及に努めます。また、3Rを意識したライフスタイルへの転換を図るため、使用済小型家電のリサイクルやリユース食器の普及などの取り組みを推進します。	22,550
生ごみ減量化・資源化の推進	家庭系生ごみの減量化・資源化を推進するため、市民のライフスタイルに合う講座の開催や、生ごみの堆肥化手法をマンガで解説した冊子を配布します。また、電動生ごみ処理機で乾燥させた生ごみを拠点回収し、堆肥化します。	940

事業名	事業概要	予算額
日本海拠点の活力を世界とつなぐ、創造交流都市		
役割を果たし成長する拠点		
ニューフードバレーの推進		
国家戦略特区の推進	区域会議や推進協議会を開催し、区域計画の拡充や地元の意見集約等を行うとともに、展示会でのPRや、アグリビジネス誘致活動等を進めます。	5,000
新潟市機能性食品認定制度の運用【新規】	食品の機能性に関する科学的研究がなされている成分を含む食品及び、健康づくりに有用な栄養成分を含む食品に対し、新潟市独自の認証を付与します。	700
農業生産工程管理(GAP)手法普及推進事業【拡充】	安心・安全な農産物の販路や輸出のさらなる拡大につなげるため、農業者が販売先に合わせた農業生産工程管理(GAP)認証規格の取得経費等への助成を拡充します。国内で認証規格となっているJ-GAP、世界標準のG-GAPの必要性や効果等について理解を深めていただく「GAP研修会」を開催します。	1,000
スマートアグリ実践モデル事業	農家のICT(情報通信技術)活用の取り組み等を支援します。農家の持つ技術と経験を可視化することで、農業技術の向上や生産の効率化が図られ、農産物の高品質化やコスト低減及び担い手へのノウハウ継承などにつなげます。	500
<再掲>農産物高付加価値化の推進	省略	48,000
6次産業化・農商工連携の支援	農産物の付加価値向上、農業者の所得向上を目的に、6次産業化・農商工連携などに取り組む農業者や食品関連企業の課題解決を支援するため、相談業務やセミナーを実施し、加工機械・施設の導入及び販売拡大への補助を行うとともに、6次産業化ネットワークの構築を進めます。	12,414
食のマーケットイン支援 (新潟IPC財団補助金の一部)	市内食料品製造業等の自社商品の県外販路拡大のため、本市の産業支援機関である新潟IPC財団の専門人材等がアドバイスから戦略立案、経費補助、マッチングまでハンズオンで支援し、マーケットに受け入れられる商品開発及び改良を企業と一緒に進めます。	10,164
食の域内取引の支援 (新潟IPC財団補助金の一部)	地域内の経済循環を図るため、本市の産業支援機関である新潟IPC財団を通じて、市内中小食品製造業の域内の販路拡大と市内食品関連企業の域内調達ルート開拓をメーカーとパイヤーが接点を持つ機会を提供することにより支援し、地域内の取引促進を図ります。	1,670
食と花の世界フォーラム	食と花をキーワードに都市ブランドの構築を図り、本市の魅力と個性を国内外に発信し、国際拠点都市としての機能向上を図ることを目的に食の国際見本市「フードメッセinにいがた」や食の国際シンポジウム「フードフォーカスinにいがた」などを開催します。	58,100

事業名	事業概要	予算額
雇用が生まれ活力があふれる拠点		
成長産業の育成		
<再掲> 国家戦略特区の推進	省略	5,000
<再掲> 新潟市機能性食品認定制度の運用【新規】	省略	700
<再掲> 農業生産工程管理(GAP)手法普及推進事業【拡充】	省略	1,000
<再掲> 農産物高付加価値化の推進	省略	48,000
<再掲> 6次産業化・農商工連携の支援	省略	12,414
<再掲> 食のマーケットイン支援(新潟IPC財団補助金の一部)	省略	10,164
<再掲> 食の域内取引の支援(新潟IPC財団補助金の一部)	省略	1,670
魅力を活かした交流拠点		
食と花の魅力の向上		
<再掲> 食文化創造都市の推進	省略	9,200
<再掲> 都市型グリーン・ツーリズムの推進	省略	1,800